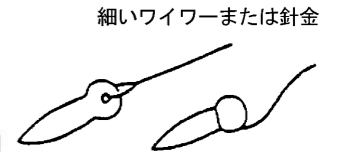
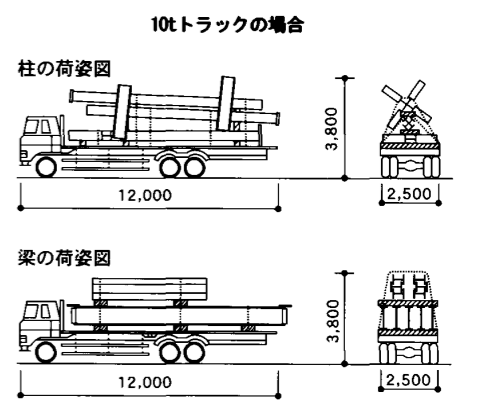




区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
準備作業	7. 柱筋の調整						・障害となる柱筋は広げる(または曲げる)	作業主任者					
	8. 玉掛け用具の確認 ・玉掛けワイヤロープ ・シャックル、レンフロークランプ												
	9. 当物(やわら)の用意						・つり荷の角で玉掛けワイヤロープをいためない。 ・ドンゴロス(南京袋)、ゴムホース、古タイヤその他つり荷に適した当物(やわら)	玉掛者 作業主任者					
	10. ボルシン、割り(くさび)の用意。	・傾斜の急なものは打込み中飛ぶことがある。	3	2	5	2	・ボルシンには、細いワイヤロープか針金をつける。 ・割り(くさび)は、2個1組に細いワイヤロープで適当な長さにつなぐ。 ・傾斜の急な割り(くさび)は使用しない。	作業主任者 作業主任者 作業員	3	1	4	1	
	11. 電線の養生の確認 ・電線の位置替え ・防護管(黄色い)		6	2	8	2	・位置替えが1.7m以下か1.7m以上か確認 ・防護管がないときは	職長	6	1	7	2	
12. 作業始めの打ち合わせ(全員) ・作業順序を打ち合わせ ・作業の割り付け													
本作業	A. 鉄骨取込み作業												
	1. 荷受け場所を決める。						・広くて、平で、他の作業の邪魔にならないところ。	職長					
	2. 枕材(受け台)を設置する。	・枕材が跳ねる	3	2	5	2	・荷に応じた間隔に安定よく置く。	作業員	3	1	4	1	
	3. 輸送トラックの到着。	・搬入車両との接触 ・玉掛け中荷くずれがある。	3	2	5	2	・道路からの取込みは極力避ける。 ・運転者と取込みの打ち合わせをし、敏速に取込みにかかる。	職長 玉掛者	3	2	5	2	
	4. 立入り禁止の措置をする。	・吊り荷の落下	10	2	12	4	・看視人、交通整理員、交通遮断ロープ、立入り禁止標識などを置く。	職長	10	1	11	4	
5. 積荷を調べる。	・鉄骨の荷崩れによる挟まれ ・車から転落する	6	4	10	4	・片荷には丁太郎(切りばり)をかう。 ・部材納品書と番付符号の確認。	作業員 作業主任者	6	2	8	3		

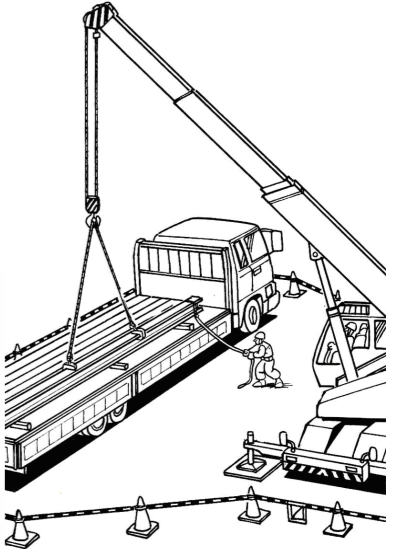


<https://www.sekouya.com>



区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本 作 業	6. 玉掛けをする。	・有資格者以外が作業をし、事故をおこす	6	2	8	3	・積荷のロープをほどく前に玉掛けする。	玉掛け者	6	1	7	2	
	7. かいしゃく綱をつける。	・不注意による事故	3	2	5	2	・介錯ロープを付ける	作業員	3	1	4	1	
	8. 積荷のロープをほどく。	・足元に注意して、車から墜落することがある。 ・車から転落する	3	2	5	2							
	9. チョイ上げの合図をする。	・クレーン等の転倒 ・輪木が跳ねて、打撲する ・積荷が崩れて、挟まれる	6	2	8	3	・信号者は、オペレータからよく見える場所で合図する。 ・横引き(づり)をしない。 ・地切りしたところで一旦止めて、荷の状態を確認	合図者 作業員 合図者	6	1	7	2	
10. 巻上げる。													
業	11. 水平移動する。	・旋回範囲に立入り挟まれる ・感電、吊荷の落下	6	4	10	4	・かいしゃく綱で誘導する。 ・つり荷の下に人がいないことを確認、かいしゃく綱で誘導しながら、静かに移動する。 ・荷下ろし地点で一旦止める。	作業員 作業員 オペレータ	6	2	8	3	
	12. 巻下げる。	・落下	6	2	8	3	・静かに下ろす。 ・枕材のチョイ上で一旦止める。	オペレータ	6	1	7	2	
	13. チョイ下げる。	・落下	6	2	8	3	・静かに下ろす。 ・枕材(受け台)上に水平にきちんと置く。 ・重ね置きするときは、すじ材(横材)を使う。 ・高く積上げない。	合図者 合図者 作業員 作業員	6	1	7	2	
	14. かいしゃく綱と玉掛けワイヤロープを外す。	・荷崩れして挟まれる	6	2	8	3	・荷くずれしないように外す。 ・玉掛けワイヤロープは、無理に引っばって抜かない。	作業員 作業員	6	1	7	2	

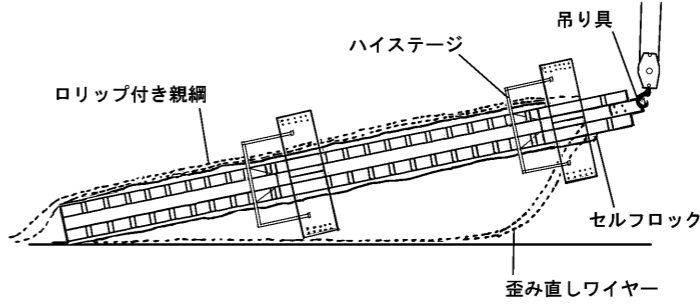
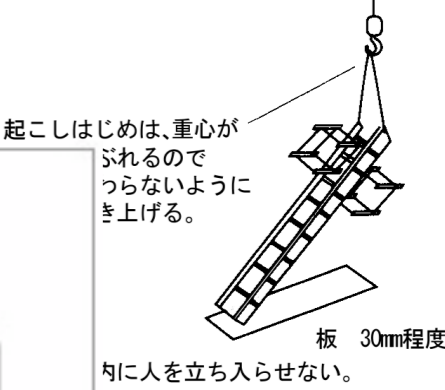
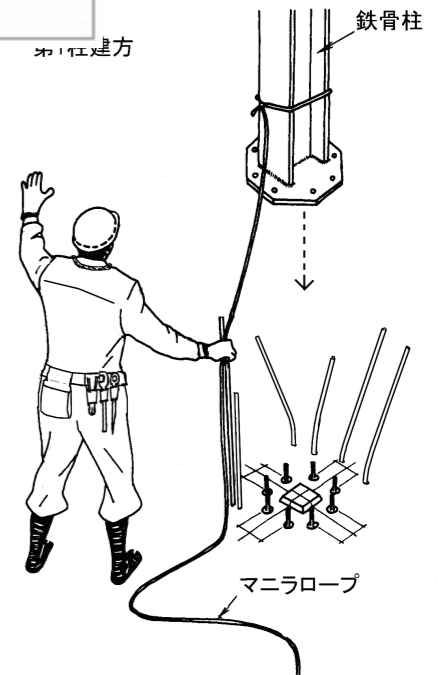
<https://www.sekouya.com>



区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本	B. 柱の建方作業 - 第1柱の建方												
	(1) 柱の玉掛け 1. 玉掛けワイヤロープ、シャックル、当物（やわら）を用意する。	・吊り荷の落下	10	2	12	4	・ワイヤロープは長さ3～4mで重量に適した太さのものを用いる。 ・シャックルは、重量に適したものを用いる。	玉掛者 玉掛者	10	1	11	4	
	2. 足がかり、手がかり安全帯取付け金具の有無を確かめる。	・吊り荷の落下	10	2	12	4	・足がかり、手がかり、安全帯取付け金具は、できるだけ、柱の加工段階で取りつけてもらう。 ・めくら柱などで安全帯取付け金具がないものは、ワイヤロープなどを巻く。	作業主任者 作業主任者	10	1	11	4	
3. 玉掛けする。 〔玉掛け方法〕 柱頂部のボルトア をボルトで締めこ		10	2	12	4								
業	ボルト穴にシャックルで玉掛けワイヤロープを取りつける。	・吊り荷の落下	10	2	12	4	・玉掛けワイヤ、シャックルは点検し、いたんでるものは取りかえる。	玉掛者	10	1	11	4	
	玉掛けワイヤロープをカバープレート の下端を通してかける。	・吊り荷の落下	10	2	12	4	・角には当物（やわら）をする。 ・玉掛けワイヤロープがセットなどに引っかかっていないか。	玉掛者 玉掛者	10	1	11	4	
	4. 玉掛けワイヤロープをフックにかける。	・柱起し中であおられて外れる。	6	2	8	3	・フックは外れ止めのついたものを用いる。 (フンドシ掛けは禁止)	玉掛者	6	1	7	2	
	5. 柱の根元に当物（あてもの）を入れる。	・吊り荷の落下	6	2	8	3	・当物には足場板、スリッパなどを長手方向に用いる。	作業員	6	2	8	3	

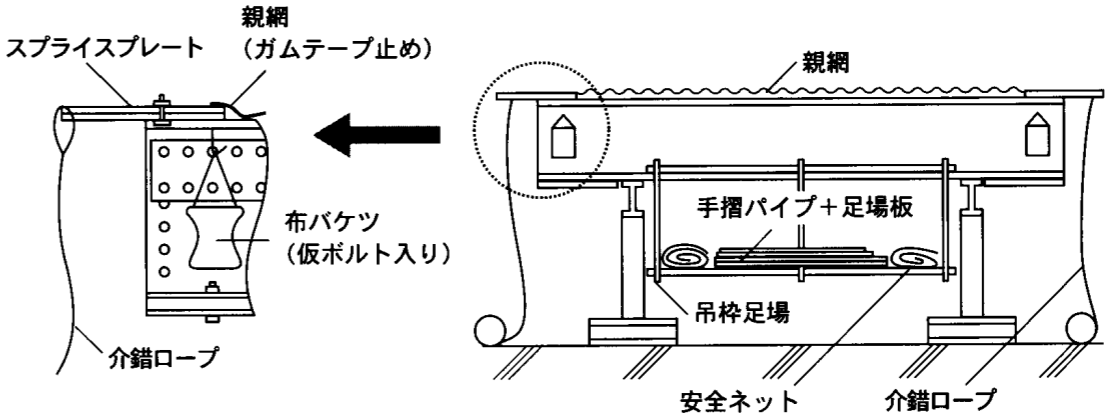
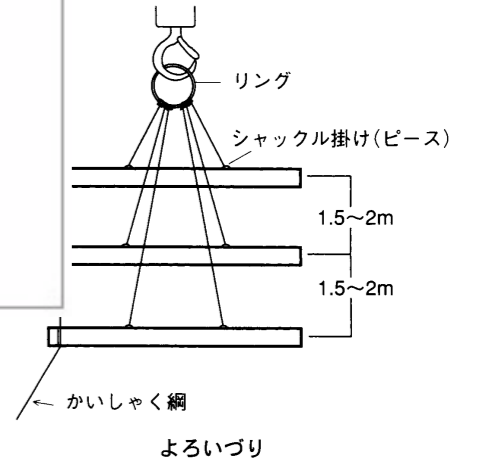
<https://www.sekouya.com>



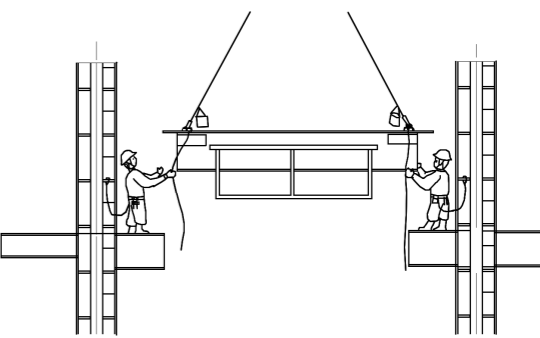
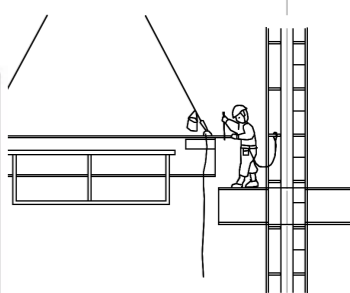
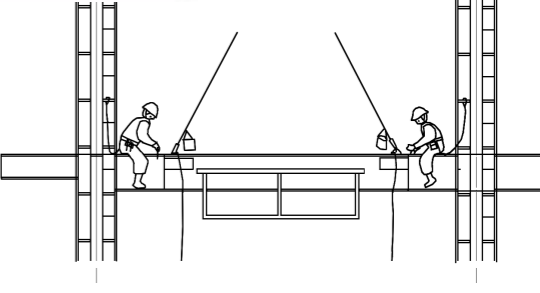

区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考	
本 業	(2) 柱起こし (ブームを起こして、倒して、旋回して)	・吊り荷との接触	6	2	8	3								
	1. 巻上げ水平移動。 (旋回)	・吊り荷の落下	10	4	14	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>足場板（スリッパ）から根元を落とすな。</li> <li>根元を無理に滑らせない。</li> <li>左右の旋回は静かに。</li> <li>セット位置をオペレーターに指示する。</li> </ul>	作業者 合図者 オペレータ 合図者	10	2	12	4	 <p>板 30mm程度 内に人を立ち入らせない。</p>	
	(3) セット 1. セット位置の上													
	2. 手の届く位置まで巻き下げる。	・鉄骨に振られる	3	2	5	2	・協力して荷ぶれを止める。	作業者	3	2	5	2		
	3. チョイ下げる。						・方向マークを確かめる。	合図者						
	4. アンカー 4 ボルトの真上に誘導する。	・吊り荷と柱筋との間に挟まれる	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンカボルトの上で一旦止める。</li> <li>作業員一同力を合わせて</li> <li>柱ベースの穴からアンカーボルトを見つめながら誘導する。</li> </ul>	合図者 作業者 合図者	6	1	7	2		
	5. 静かにセットする。(微動)	・吊り荷に指を挟む	6	2	8	3	・手、足を挟まれないように。	作業者	6	2	8	3		
6. アンカーボルトを締める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>鉄骨柱の転倒</li> <li>手、足を滑らせて負傷する。</li> </ul>	10	2	12	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボルトを傷つけないように。</li> <li>建入れをよく確かめてボルトの全部を締める。</li> </ul>	作業者 作業主任者	10	1	11	4			

<https://www.sekouya.com>

区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本	7. 昇柱する。	・手、足を滑らせて墜落する。 ・鉄骨柱の転倒	10	2	12	4	・体の調子が悪いときは、他の作業者とかわるようになる。 ・雨上がりの時の昇柱は、特に注意する。	職長 作業主任者	10	2	12	4	
	8. 玉掛けワイヤーロープをはずしてフックにかける。	・墜落の危険	10	2	12	4	・安全帯を使用する。 ・シャックルのピンは、外れて落ちないようにしっかり締める。	作業員 作業員	10	1	11	4	
	9. 降柱する。	・墜落の危険	10	2	12	4	・地上に降りるまで気を抜かない。	作業員	10	1	11	4	
	(2) 梁の取り付け												
業	1. 玉掛けワイヤーロープ、シャックル、当物(やわらかい)を田音する	・吊り荷の落下	6	4	10	4	・荷重に適した長さ、太さのものをを用いる。	玉掛け者	6	2	8	3	
	<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>												
	2. 記号を確かめ梁を拾い出す。 ・記号は図面を見て確かめる。	・荷崩れの危険	3	4	7	2	・下積みになったはりの拾い出しは必ず上荷を取り除いてから行う。上荷がめくら梁のときは次の順序による。 上荷の片側をつり上げ。 すじ材を入れ。 玉掛けし、上荷を取り除く。	作業員 玉掛け者	3	2	5	2	
3. 作業用足場の取付け	・梁が転倒し、部材に挟まれる。	3	4	7	2	・地上で予め梁、桁などに取付け、足場板を敷いておく。	作業員	3	2	5	2		

区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本 作 業	4. 親網の取付け。 (ガムテープを使用)	・吊り荷の落下	6	2	8	3	・地上で鉄骨(梁、桁)に親網を取りつける。 ・転倒防止の長太郎をかう。	作業主任者 作業員	6	1	7	2	
													
	5. 玉掛けをする。  ・重心を確かめる。 ・フックの中心に ・つり荷の状態を 荷が傾斜しない 荷ぶれしない 玉掛けワイヤロープのかかり具合 はよいか。												
							<p>合図、誘導は特に慎重にする。</p> <p>・つまづいたり、足を挟まれないように足元に注意する。</p> <p>・かいしゃく網をつける。</p>	作業員 作業員					
	6. 作業員は昇柱し待機する。	・柱の昇降時に足を踏み外して墜落	10	4	14	5	・一方は2人、他方は1人または2人で組む。 ・安全帯を使用する	作業員 作業員	10	2	12	4	
	7. 荷(はり)を巻上げ移動する。	・荷の傾斜、荷振れ、ワイヤロープのかかり具合、レンフロークランプの取付状態 ・吊り荷の落下	6	2	8	3	・手、足を滑らせないように昇柱する。	作業員	6	2	8	3	

<https://www.sekouya.com>

区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考	
本 作 業	8. 荷が取付け位置にきめたら手もと で一旦止める。	・ 梁に接触し、転落する	10	2	12	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>取付け場所で、安全帯をつけ待機する。</li> <li>急激に巻上げ、旋回しない。</li> <li>横引き（横吊り）しない、</li> <li>荷ぶれや、回転しないようにかいしゃく綱 でしっかり誘導する。</li> <li>障害物に触れないように移動する。</li> <li>合図は確実に。</li> <li>方向マークを確かめる。</li> <li>荷が停止するまで待ち、仕口方向を確認</li> </ul>	作業者 合図者  作業者  作業者 合図者 合図者 作業者	10	1	11	4		
	9. 柱間に親綱を取付ける。 ・ ガムテープを外し、親綱を取付け る。 ・ 必ず1人で作業 せる。	・ 梁取付け時に指を詰める	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全帯使用のこと。</li> </ul>	作業主任者	6	1	7	2		
	10. はりをガゼツ													
	11. ガゼットに取 ・ 両方平均に落と ・ 定位置に近づいたら、はりの上端 の穴にスパナ（しのになっている ところ）を用いてチョイ下げる。 ・ ガゼットの穴にタイミングよく取 付ける。	て取り、腰袋に入れる					<ul style="list-style-type: none"> <li>ボルトを仮り締めする。</li> <li>プレート（あて板、はら板）を所定の位置 に合わせて締める。</li> <li>歪み直し終了後は、総ボルト数の 1/3 以上、 最低でも上下に各 2 本のボルトを締める。</li> </ul>	作業者 作業者  作業主任者						
12. ボルシンを叩き込む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>頭のまくれの切片が飛散 して目に入る</li> <li>スパナを落下させ、人に当 たる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>割り（くさび）を使用しているときは取る。</li> <li>割り（くさび）を使下に落とさないように する。</li> <li>下に落とさないようにして、叩き込む。</li> <li>ボルシンのまくれのひどいものは用いない。</li> </ul>	6	2	8	3	作業者 作業者  作業者 作業者	6	1	7	2	細いワイワーまたは針金  		

<https://www.sekouya.com>



区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本 作 業	13. ボルトを仮締めする。 ・最低2本以上を仮締めする。 (ただし、2柱目まで。3柱目以上を仮締めする場合は、現場責任者の指示を受けて仮締め本数を決める)	・墜落する危険が大きい。 ・スパナを落下させ、人に当たる	6	2	8	3	安全ネットを張る。 親綱を張り安全带を使う。 ・いずれかの方法を施工計画の段階で検討する。	作業主任者	6	1	7	2	
	14. 相手方を確かめる。	・墜落の危険 ・工具の落下	10	4	14	5	・お互に声をかけ合う。	作業者	10	2	12	4	
	15. 玉掛けワイヤロープを外す。	・墜落する事故が多い。 ・柱の根元にいると危険。 ・梁等に引っかかる	10	4	14	5	・安全带を使用して梁の上を歩く。 ・安全带が使えないときは、はりに馬乗りの姿勢をとり玉掛けワイヤロープを取りはず	作業者 作業者	10	2	12	4	
	16. 降柱する。												

<https://www.sekouya.com>

区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本 作 業	C. 第2柱目からの柱の建方												 <p>柱 安全ブロック取付</p>
	(1) 柱の玉掛け (2) 柱起こし (3) 柱のジョイント						<ul style="list-style-type: none"> <li>・(第1柱の玉掛け)の項参照。</li> <li>・(第1柱の柱起こし)の項参照。</li> <li>・手、足を滑らせないように昇柱する。</li> </ul>	作業者					
	1. 建方作業員は昇柱して待機する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・柱の昇降時に足を踏み外し墜落</li> <li>・手足を滑らせて墜落する</li> </ul>	10	4	14	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つり荷がジョイント位置に近づくまで離れて待機する。</li> <li>・吊荷に背を向けないこと。</li> <li>・合図を正確に。</li> </ul>	作業者  作業者 合図者	10	2	12	4	
	2. つり荷をジョイント位置の上部直上で一たん止める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あおられて、フックの外れ止めが外れる</li> </ul>	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慎重に行う</li> </ul>	作業者	6	2	8	3	
	3. 手の届く位置まで巻き下げる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吊り荷の落下</li> </ul>	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つり荷が止ってからジョイント位置に移動し、安全帯をつける</li> </ul>	作業者	6	1	7	2	
	4. カバープレート 5. ジョイント位置												
業	6. チョイ下げる。(ジョイント)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墜落する危険</li> </ul>	10	2	12	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上部に当たらないようにタイミングよくよび込む。</li> <li>・強く納まらないときは軽く左右にゆすりながらチョイ下げる。</li> <li>・割り(くさび)を使用しているときは取る。</li> <li>・割り(くさび)は下に落とさない。</li> </ul>	作業者  作業者  作業者	10	1	11	4	 <p>ワイヤー代を見ておく</p>
	7. ボルシンを叩き込む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工具が落下して人に当たる</li> </ul>	6	4	10	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下に落とさないようにしてしっかり叩き込む。</li> <li>・ボルトが合わないときは、ブームを左右前後に微動して合わせる。</li> </ul>	作業者  合図者	6	2	8	3	
	8. ボルトを仮締めする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工具類の落下</li> <li>・ボルトの落下</li> </ul>	6	2	8	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボルト仮締め本数は、現場責任者の指示を受ける。</li> </ul>	作業主任者	6	2	8	3	

<https://www.sekouya.com>

区分	作業の手順	予測される危険	重篤度	頻度	見積り	優先度	防止対策	実施者	重篤度	頻度	見積り	優先度	備考
本 作 業	9. 玉掛けワイヤロープを外しフックにかける。	・ 梁に渡る際バランスをくずして墜落する ・ 墜落する事故	10	2	12	4	・ 手、足を滑らせないように昇柱する。 ・ 安全帯をつける。 ・ 柱の補強を必要とするときは、補強してから玉掛けワイヤロープを外す。 ・ 外した玉掛けワイヤロープは蛇口をフックにかける（下にほうり投げない）。 ・ 長い柱や、大風のおそれがあるときは、丸太またはワイヤロープなどで補強が必要となる。	作業者 作業者 作業者 作業主任者	10	1	11	4	
	10. 降柱する。	・ 手足を滑らせて墜落する	10	4	14	5	・ 地上に降りるまで気を抜くな。 ・ 安全帯を使うか、安全ネットのある場合のほかは、梁の上を歩いて次の柱に行かない。	作業者 作業者	10	2	12	4	
後 片 付 け	D. 後片付け												
	1. 残材の整理をす	<a href="https://www.sekouya.com">https://www.sekouya.com</a>											
	2. 仮設資材の整理												
	3. 機械工具類の片												
	て当たる ・ つまずき転倒					・ 片付け、整理整頓を確認し、作業終了。	職 長						
	4. 作業終了時事務所に報告し、明日の作業を確認する。	・ つまずき転倒	3	2	5	2	・ 足元に注意する	職 長	3	1	4	1	

